

# 学校評議員並びに学校関係者評価委員評価報告書

(愛媛県立新居浜商業高等学校)

学校番号 ( 8 )

評価実施日	令和 4年 2月 13日 (月)	
委員	学校評議員 (3名) 企業代表 (1名) 地域代表 (1名) 保護者代表 (1名)	
<p>○本校の教育方針は、「人間力を高め、将来をたくましく生きる生徒を育成する～地域に貢献し、地域に愛され、地域とともに歩む新商～」としている。</p> <p>○マニフェスト 2022 は、以下の3つでそれぞれ4つの観点を上げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間力を高める</li> <li>2 将来をたくましく生き抜く</li> <li>3 いきいきと活動する</li> </ol>		
評価・提言等	提言等に対する改善方策等	
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠統計について マニフェストにある「1か年皆勤者数130名以上、出席率98%以上」を達成することができなかった。</li> <li>・観点別学習状況の評価の導入 学習指導要領の改訂により、今年度1年生から本格的に導入している。『知識・技能』『思考、判断、表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3つの観点から生徒の学習状況を評価し、学習や指導の改善につなげるよう変更している。</li> <li>・生徒異動について 転退学者の増加が見られる。生徒を取り巻く環境は複雑になり個々に理由が異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響は出席率が下がったことに影響は見られないと考えているが、出席停止の数が尋常でないことを懸念している。来年度5月8日より、第5類に指定された時に以前の生活に戻れるのか心配している。出席停止の生徒をすべてコロナウィルス感染症の影響とするのではなく、病欠などと分けていく方法を模索している。</li> <li>・各教科が新しい評価の観点により生徒の成長を見逃さず評価に反映させるべく取り組んでいるところである。課題も多く、どのように取り入れると、効果的な指導につながるか研鑽に励む。</li> <li>・入学時の目標を見失うことなく、学校生活を安心して送れるよう指導に努める。</li> </ul>	
<p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別指導について 15件(28名)の特別指導を行った。問題行動による特別指導を行った人数は増えている。内容が以前と違い、心配している。目標が持てず、また漠然としている生徒が問題行動に走っているのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生への指導が増え、問題行動の内容が幼稚になっているが、スマホについては授業時の使用のみで悪質なものがなくなっている。その時々生徒の特性に応じて、問題行動を起こさせない日々の指導を粘り強く続けていきたい。</li> </ul>	

<p>・転学・退学について</p> <p>・交通安全指導の充実について</p> <p>本校近くのコンビニの近くで右側通行の自転車通学生を見かける。事故にもつながりそうなのだが、学校ではどのような指導をしているのか。今は自転車が加害者になることもあるので心配している。</p>	<p>・全学年、中学時にコロナウィルス感染症の影響を受けた生徒になっており、休むことに抵抗がなくなっているように感じている。卒業までの目標を見つけ、頑張れる生徒を育てていきたい。</p> <p>・月に3回、市内一斉登校指導を設けており、ご指摘の場所は、指導場所に今年度から入れている。また、本校の生徒が危ない乗り方・通行の仕方が気になるという情報が入るとその都度、朝夕2回（本校は授業終わりにもホームルーム活動がある）のショートホームルームの放送で注意を促している。</p>
<p>(3) 進路指導</p> <p>・就職状況</p> <p>求人は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた昨年度より、より以上の求人があった。本人保護者とも地元での就職を希望している生徒が多く、地元を支える人材を輩出する学校として、今後も地域企業との連携を大切にしていきたい。最近の就職試験の傾向として面接だけではなく、一般問題の筆記試験やSPI等による適性検査を実施する企業が増えてきている。</p> <p>3年間で目標は変わってくるかもしれないが、何か一つ（勉強、検定、部活動など何でも構わない）頑張れる生徒を育てて欲しい。（面接試験などで）頑張ったことを自分で話せる生徒が企業は採用したい。</p> <p>・進学状況</p> <p>推薦制度を活用し、総合選抜型入試と学校選抜型入試での合格者の割合が高い。今年度は全商協会大学特別推薦での受験をした生徒もいた。</p>	<p>・本年度、長期休業中の進路補習では、面接講座だけでなく小論文講座やSPI対策講座など生徒の希望に応じた講座を開講した。自信を持って就職試験に臨ませたい。また、本校通級指導の対しては、昨年度の実績を踏まえて、教育相談・保健課、就職支援コーディネーター、ハローワーク、地域企業との連携を図りながら進めることができた。</p> <p>変化する生徒の実態に応じて、年間スケジュールが組まれたキャリアパスポート（生徒自身が目標設定と振り返りができる）を活用した指導を充実し、目標を持ち頑張れる生徒を育てていきたい。</p> <p>・商業系の大学進学を希望する生徒が多く、高校で学んだ商業科目の基礎を大学でも生かせるよう、今後も検定取得に意欲的に取り組ませたい。</p> <p>1・2年生対象には、進路ガイダンスを実施している。生徒の進路希望に応じて、多岐にわたる企業、専門学校、大学などから担当者を招いて対面でのガイダンスを実施している。生徒への情報提供が難しい状況下で、感染対策をしっかりと行うことで生徒の意識向上を促せた。</p> <p>今年度は3年ぶりにインターンシップを開催できた。事前指導から事後指導までの研修を実施した。キャリア教育の充実と進路決定のミス</p>

	<p>マッチをなくために、インターンシップを通して、勤労観や職業観の育成や生徒の将来設計について考える機会としたい。</p>
<p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下で、運動会や新商祭は時間を短縮して午前中のみ開催になった。三年生の保護者を人数制限はあったが、来ていただけた。</li> <li>・生徒数の減少を受け、部員数も減少している。チームスポーツでの部員の確保について、何か対策を講じているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮での開催ではあったが、生徒たちは限られた中で楽しんでた。中でも新商祭では、生徒から提案されたスマートフォンでの写真撮影の許可に取り組んだ。生徒会役員が中心になって、誓約書の作成やルールを決めるなど、生徒たちが教員に許可を働きかけた。SNS上でのトラブルを心配したが、問題も起きなかった。行事を終え、生徒と教員間の信頼関係がさらに強化されたように感じた。学校行事には出席率が高い。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に下がり、行事が以前のように実施できるようになれば、生徒の活躍の場が増え、魅力ある学校作りにつながることを確信できた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症と中学校の部活動の活動時間の制限等の影響が考えられる。公立高校でも練習時間に制限があり、戦績が残りにくい現状であるが、地道な努力を続け、結果につなげていきたい。電卓部や写真部など個人で活動する部は、四国大会や全国大会に出場している。また、校外で活動している生徒（ウエイトリフティング、ボクシング）の活躍も見られる。</li> </ul>
<p>(5) 通級による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に県下初の実施校に指定されて以来、5年目を迎えた。通常の教育課程に加える形で、自立と社会参加を目指し、学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導を7限目に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数は減少しているものの、受講希望者が増えているのが現状である。本人・保護者のニーズも高まっている。受講した生徒が全員単位修得につながるよう、丁寧な支援、指導を続けていきたい。</li> </ul>
<p>(6) 商業科の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会・コンテスト <ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校ビジネス計算競技大会</li> <li>県大会 団体第3位 個人第3位</li> <li>四国大会 団体第3位</li> <li>全国大会 個人出場</li> <li>生徒商業研究発表大会愛媛県予選第3位</li> <li>地方創生☆アイデアコンテスト2022</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新居浜市立商業高等学校として、創立されて以来、地域産業の活性化に貢献できる生徒の育成に取り組んできた。最近の取組として、地域創生☆政策アイデアコンテストでは、2年連続優良賞を受賞するとともに、3年連続四国経済産業局長賞を受賞することができた。今後も地域の課題解決に取り組んでいきたいと考えてい</li> </ul>

<p>2年連続優秀賞（全国第2位）</p> <p>3年連続四国経済産業局長賞</p> <p>TrueData 賞</p> <p>日立ソリューションズ東日本賞</p> <p>えひめ地域アワード・ユース 2022</p> <p>審査員特別賞</p> <p>・三種以上1級合格者表彰（全11種目） 16名</p> <p>・高度資格試験合格プログラム</p> <p>(1) 会計実務対策講習会（3名） 「財務諸表分析検定試験」</p> <p>(2) ITパスポート試験対策講座（5名）</p> <p>・三種以上1級合格者表彰（全11種目） 16名</p> <p>・ツアープランニングプログラム</p> <p>(1) 七福芋の植え付け</p> <p>(2) 銅婚 WEEK</p> <p>(3) 絵の具で遊ぼう</p> <p>(4) 七福芋収穫祭ツアー</p> <p>・商品開発プログラム</p> <p>(1) 新商マルシェ</p> <p>(2) わくわく新居浜物産展</p> <p>(3) イオンモール新居浜 21 周年祭</p> <p>(4) 七福芋スイーツ選手権</p> <p>(5) まち・わざ・しごとフェス</p> <p>(6) まるまるまるしえ</p> <p>(7) 歳末クリスマスマルシェ</p>	<p>る。</p> <p>・3年間を通して、全商の各種検定1級の取得に向けて励んでいる。2年生からの2級取得は、難しい挑戦となってきているが、習熟度に応じたきめ細かな指導体制について研究し、より多くの生徒が上の級に合格するよう取り組んでいきたい。</p> <p>・マイスター育成事業が今年度から「えひめ未来マイスター育成事業」へと名称が変わり、継続して実施されている。ITパスポート試験などの国家試験合格に向けて、県内の商業高校や商業科設置校の生徒と共に講習を受け、合格に向け頑張った。</p> <p>・「課題研究」ツアープランニング講座の生徒</p> <p>(1) については、(4)の収穫祭ツアーに向けての準備だったが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で収穫祭ツアーは実施できず本校生徒による収穫になった。</p> <p>(2)(3)については、市の施設あかがねミュージアムで開催された。</p> <p>・「課題研究」商品開発講座とNC★SHOP部の生徒たちが、市内のショッピングモールやスーパーなどの商業施設の他、西条市のイベントにも参加し、販売実習活動を行った。上記ツアープランニングと併せて、企画、商品開発、販売促進、イベント運営を任されて生徒たちは意欲的に取り組んでいる。マスメディアでも取り上げられ、毎年声をかけていただくようになってきている。地域に密着した高校、地域の核となる地元の高校としてのアピールにつなげることにより、進学を考えてくれる中学生が増えてきているように感じている。今後も引き続き、取り組んでいきたいと考えている。</p>
--	---

## 2 学校運営への提言

- (1) 多面的に生徒への指導を取り組んでいる。マニフェストの通り、今後も頑張っていたきたい。
- (2) 現在行っている活動を今後も継続して、より大きなものにしていただきたい。また、以前のように泉川公民館や児童館にも出かけてきてほしい。
- (3) 限られた時間の中での部活動により、目標が漠然としていたり、目標が持てない生徒が問題行動に走っていたりしているように思う。自分の目標を見つけ、達成できる生徒を育てていただきたい。
- (4) SNSに対する教育は、企業でも新入社員に必要になってきている。変化する状況の中で、その時に応じた教育について考えていただきたい。また、インターンシップの時期についても、どの時期が適切か考えていただきたい。学校評価でいつも同じ項目がワースト5(評価が低い項目)に入っている。具体的な対策を検討し改善してほしい。
- (5) マルシェなどの活動を聞いて、新商生が頑張っていると思った。普通科では見られない特色をさらに生かして、他校にはない手厚い指導を今後もお願いしたい。就職だけではなく、進学への指導も続けていっていただきたい。特色ある学校作りを、今後も目指してほしい。

・新型コロナウイルス感染症の影響で地元泉川への活動が減ってきているが、規制が緩和されてきているので、以前のように伺いたい。

・制限された中でも、地道な努力を続け、成果につなげたい。

・SNSについては、事例が起こるごとにショートホームルーム時の全校放送で指導している。インターンシップの時期については、検討していきたい。改善については、今後も対策を検討し、改善に向けての努力を続けていきたい。

・マルシェの活動はもちろん、進路指導をより充実させ、地域に根差した特色ある学校作りに今後も継続して励んでいきたい。